

組合の楽しい便り 投稿歓迎します。

No445

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

令和 4 年 10 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

二〇二二年版中小企業・小規模企業白書 地域課題の解決に向けて支援機関の ネットワークを活用すること重要に

のポイント (総論)

経済産業省・中小企業庁は、このほど『二〇二二年版中小企業白書・小規模企業白書』をまとめ発表しましたので、ここにその概要を掲載しました。

1. 二〇二二年版中小企業白書・小規模企業白書の特徴

二〇二二年版白書では、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の流行や原油・原材料価格の高騰等の外部環境に直面する中小企業・小規模事業者の動向、中小企業・小規模事業者のそれぞれが自己変革に向けて、新たな挑戦を行うために必要な取組について、企業事例を交えながら分析を行っている。

2. 二〇二二年版中小企業白書・小規模企業白書

明確化や従業員への浸透などを行うことも必要。
■人的資本への投資について、経営者が積極的に計画的なOJTやOFF-JTを実施し、従業員の能力開発を進めることが重要。
■小規模事業者における事業見直し・地域課題の解決

交渉機会を設けることが重要。
■デジタル化の進展に取り組み、新たなビジネスモデルの確立につながる段階への到達を目指すことが重要。
■経営者自らが自己変革を進めるためには、支援機関との対話を通じて経営課題を設定することが重要。

（小規模事業者における事業見直し・地域課題の解決）
■小規模事業者は、積極的に事業見直しに取り組んでいるが、事業見直し時に様々な課題にも直面。こうした中で、事業見直しにおける支援機関の役割は重要。
■地域課題の解決に向けて、他の事業者との協業を行う小規模事業者は、支援機関のネットワーク・ノウハウを活用することが重要。
（共通基盤としての取組）
■コスト変動への対応だけでなく、中小企業における賃上げといった分配の原資を確保する上でも、取引適正化は重要。価格転嫁に向けては、販売先との

下の感染症への対応）
■足下の事業継続とその後成長につなげる方法の一つとして、事業再構築が重要。売上面への効果や既存事業とのシナジー効果を実感する企業も存在。（企業の成長を促す経営力と組織）
■中小企業の成長を促すための取組として、ブランド構築や人的資本への投資を始めとする無形資産投資に今回着目。
■ブランド構築について、ブランドコンセプトの

小規模事業者の底力
■消費者の意識変化と感染症流行による消費者の意識・行動の変化に着目し、新たな需要を獲得する小規模事業者も存在。
地域とのつながりやSDGsへの取組は小規模事業者の持続的発展に貢献。感染症流行下の支援を通じて、商工会・商工会議所への期待は高まっている。
経済産業省ホームページ
<https://www.meti.go.jp/>

2025 大阪・関西万博の
日印産連・共創チャレンジに登録
チーム名「すべての印刷物を
グリーンプリンティングに」

社会の実現に貢献します。えていきます。

大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムは、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現、SDGsの達成に貢献するため、多様な人たちがチームを組む、多彩な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑む、みんながつくる参加型プログラムです。

このたび、「すべての印刷物を“グリーンプリンティング”に」というチーム名で共創チャレンジに登録しました。

日本印刷産業連合会・グリーンプリンティング認定事務局では、2025年に日本で開催される大阪・関西万博を通じて、GP認定制度を日本中に広めたいとしています。

GP認定工場とGPマークが表示された印刷製品の広がりによって、地球温暖化防止、廃棄物の適正管理・排出抑制、リサイクル推進、環境汚染物質の削減、化学物質の適正管理などを推進し、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」、SDGsが目指す持続可能な

具体的な協同活動案などををお持ちの場合は、是非、GP認定事務局までご連絡ください。と呼びかけています。

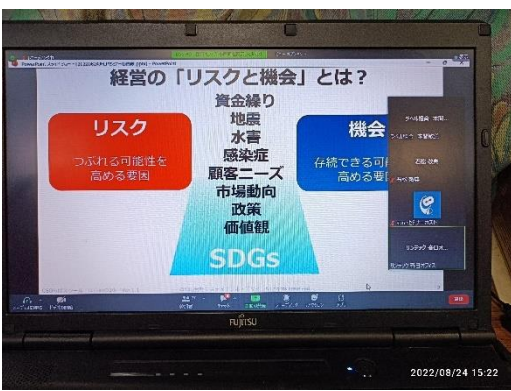
共創チャレンジのホームページは左記の通り。
<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge>

全日シール連合会
第1回 SDGs セミナーを
「経営(営業)に取り組む
ためには」をテーマに
9月、10月にも開催へ

全日本シール印刷協同組合連合会(田中祐会長)主催の「SDGsセミナー」の第一回目が八月二十四日(水)に開催され、会場とオンライン参加を含めて九〇人近くが参加しました。今回はサステイブル・デザイン社長の西原弘氏が「中小企業にとってSDGs

sに取り組むことで生まれるリスク、取組むことで生まれる機会」、リネットクの野口洋平グループ長が「印刷情報業界におけるSDGsの取り組み事例」、久保井インキ社長の久保井伸輔氏が「インキ業界におけるSDGsの取り組み事例」、フナミズ刃型製版社長の木原一裕氏が「製版業界に於けるSDGsの取り組み事例」についてそれぞれ説明しました。

今回のセミナーは運営側の不手際で、音声や画像がうまく視聴できないというトラブルもありましたが、九月二十七日と十月二十五日に第二回目と第三回目が開催予定です。



IGAS2022

INTERNATIONAL GRAPHIC ARTS SHOW

11.24[THU]-28[MON],2022 | TOKYO BIG SIGHT [東京ビッグサイト]

一般社団法人日本印刷産業機械工業会（会長・森澤 彰彦）とプリプレス&デジタル プリンティング&リアルとバーチャルを融合したハイブリッド展示会（会長・辻重紀）は、二〇二二年十一月二十四日（木）から十一月二十八日（月）までの五日間、東京ビッグサイトにて「IGAS二〇二二年（国際総合印刷テク ノロジー&ソリューション展）」を開催します。

IGAS二〇二二年は、二〇二二年（国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展）International Graphic Arts Show 2022「東京ビッグサイト駅」下を効果的に開催することにより、IGASの魅力が国内外にアピールします。最新印刷技術の動向や印刷及びクロスメディアに関するマーケティング、新規事業等のビジネスに直結するトピックスをとりあげます。FOURは、会場内を実際に見学するツアーを数千人規模で行います。来場者にとって展示会全体の概要を俯瞰して見ることが出来るツアーコースを用意します。出展者にとっては、自社の製品、技術、サービスをPRする絶好の機会でもあります。これに加え、THEME ZONEとして最先端のテーマや従来とは異なるカテゴリーの出展者を集めたテーマゾーンと一つのテーマで複数の出展者が共同でプレゼンテーションを行うコラボレーションゾーン等を設けます。

■名称 IGAS アイガス

二〇二二年（国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展）International Graphic Arts Show 2022「東京ビッグサイト駅」下を効果的に開催することにより、IGASの魅力が国内外にアピールします。最新印刷技術の動向や印刷及びクロスメディアに関するマーケティング、新規事業等のビジネスに直結するトピックスをとりあげます。FOURは、会場内を実際に見学するツアーを数千人規模で行います。来場者にとって展示会全体の概要を俯瞰して見ることが出来るツアーコースを用意します。出展者にとっては、自社の製品、技術、サービスをPRする絶好の機会でもあります。これに加え、THEME ZONEとして最先端のテーマや従来とは異なるカテゴリーの出展者を集めたテーマゾーンと一つのテーマで複数の出展者が共同でプレゼンテーションを行うコラボレーションゾーン等を設けます。

■会場 東京ビッグサイト

ト東展示棟（りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩約七分 ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」下車徒歩約三分）

三年ぶりの開催に期待が

全日本シール印刷協同組合連合会（田中祐会長）主催の第六十四回年次大会・IGAS大会は、十一月二十五日（金）に、東京ビッグサイトホールAにおいて開催されます。

ここ二年間新型コロナウイルスによって開催できなかったため、開催されれば三年ぶりの大会となり、IGAS開催中の大会となるため、多くの参加者が期待されています。

今回は式典で第三十二回シールラベルコンテストの表彰と組合功労者、優良従業員の表彰式が予定されており、式典終了後は懇親会が開催されています。参加希望者はすでに送付の申込書に記入の上、組合へお申し込みください。

年次大会も併催へ

■入場料 当日販売 二千円、事前登録の場合は無料

ここ最近、「健康経営」という言葉を目や耳にすることが多くなってきました。が、「健康経営」とは、企業の持続的な成長を図るための経営戦略のひとつです。

従業員のメンタルヘルス等の健康づくりに積極的に取り組み、従業員の業務効率の改善を推進し、それにより企業の生産性を高め、ていくという経営手法を「健康経営」といいます。

かつては、健康管理は個人の責任と捉えられていましたが、従業員が心身ともに健康的に働けるよう環境を整備することは、企業の責任であると考えられるようになりました。

このような考えの背景は、アメリカにおける企業の取り組みにあります。公的医療保険制度がないアメリカでは、企業は社員の医療費が高騰し、その負担により収益が圧迫され、経営に深刻な影響を与える事態となっていました。

アメリカの経営心理学者ロバート・ローゼン氏は、「健康な従業員こそが収益性の高い会社を作る」という「ヘルシー・カンパニー」

という思想を提唱し、このことにより従業員の健康や働きやすい環境を整備することで、生産性が向上し、業績向上にもつながるといいます。

日本における健康経営については、企業による経営と従業員の健康管理の両立を目指し、経済産業省が推進し、NPO法人健康経営研究会が普及に向けた啓発活動を行い、多くの企業に広まりつつあります。

健康経営により従業員にとつては心身ともに健やかなる、生き生きと働けるというメリットがありますが、健康経営に取り組むことで企業にも大きなメリットがあります。

健康的に働くことができれば、業務の効率化が図られ、生産性の向上が期待できます。

職場環境の改善や健康増進により、従業員一人一人の仕事へのモチベーションも高まり、職場全体の活性化にも繋がります。

従業員の欠勤・休職・離職率の低下
従業員にとつて働きやすい環境は、身体や精神の不調を予防し、健康上の理由による欠勤・休職・退職を縮小させることが期待できます。また、企業が健康に配慮することで、従業員の企業への貢献意識を高め、職場の満足度が向上しやす

く、離職率の改善にも繋がります。

経営優良法人」に選出されることで、企業価値やイメージが向上し、そのことにより優秀な人材も集まりやすくなります。

医療費の削減
企業が健康経営を導入し従業員が健康になれば、医療機関への受診率が下がります。従業員の医療費は一部を企業が負担しているため、従業員の通院回数

が減少すれば、企業の医療コストを軽減することに繋がります。中小企業等を対象とする健康経営を推進するための制度が「健康経営優良法人認定制度」です。

認定部門は、企業規模毎で分かれており、大企業を対象とした「大規模法人部門」と中小規模の法人を対象とした「中小規模法人部門」の2部門があります。ちなみに当組合のシールックスも経営方針の柱の一つとして「健康経営」を掲げており、様々な取り組みを行っています。

従業員が心身ともに健

「健康経営銘柄」や「健康

を行って

「免疫系が活発すぎること」が問題」

(有)TOOV 篠田 ちる

第四章 利己的な微生物

存在しない。

だれだって自分の免疫系を浴する方法を知りたい。免疫系と健康で活発なものにする為には何が必要なのか。社会は緊密な集団生活で成り立ち、病原体を拾いやすくなっている。

花粉症になりやすいのは圧倒的に一人っ子、兄弟の数が多すぎるといわれる。もう一つ生まれの順番で弟や妹がいる子よりも兄や姉がいるこの方がなりにくい。

喜ぶような食事の摂り方を考えるようになり、心と体の健康は微生物の宿主としての私の価値を測る指標だと思ふことにした。

進化したのではない。免疫系の発育に必要なのは衛生的環境のおかげで消えてしまった感染症より古くから友好関係を築いてきた微生物たちによる正常なコロニー形成だ。

ヒトが集団生活を重んじるほど微生物は拡散しやすい。野生動物には伝染病で苦しむことはない。免疫系が優秀だからではなく、病気を流行させる二種の接触機会がないからだ。今困っているのは免疫系が不活発なことより活発すぎることで問題だ。

忘却の完璧なバランスを形成するには不安になった神経細胞の接合部を確認するこの作業を担当するのは免疫系の食細胞だ。癌化する危険のある細胞も排除されなければならぬ。DNAがコピーされるとき生じるエラーはその細胞の不死性つまり癌性を与える。こうしたことにならないように体内を巡回してエラーの兆候を探しているのは免疫系の細胞だ。

微生物は私を支える共同体でそれを維持するのは私のためであると同時に微生物のためでもある。動物は細菌なしには誕生しない。自分より大きな細胞にのみこまれた細菌は、宿主にとって有益な存在となった。

ヒトとマイクロバイオータの長い共進化の歴史はどちらにとつても最善の利益となるよう免疫系のバランスを微調整している。二十世紀の表面化で生じている炎症、免疫系は感染症の脅威が消えたおかげで、一休み出来るどころか、かつてなく忙しくなっている。本当に免疫力を高めたかと思ふなら、高価なイチゴや特性ジュースを頼るのではなく、すべてに於いてあなたのマイクロバイオータを優先すれば後は勝手についてくる。

喘息に十人に一人の子どもが苦しむ。空气中に漂う無害な粒子(花粉)に四〇%の子どもと三〇%の人が拒絶反応を起こしている。何かがおかしい。産業化、西洋化されていないその辺地にアレルギー問題は

非自己の物質の一部を受け入れ、自己の分子の一部を攻撃するのは非自己の病原体を破壊するのと同じ

宿主の生物種とその微生物は初期の動物界の多細胞生物の土台となり必須要素になった。もはや細菌とは呼べない存在だ。

宿主の生物種とその微生物が一緒に進化した。宿主動物の遺伝子だけでなく微生物の遺伝子も同じに選ばれている。宿主のゲノムとマイクロバイオータが一体となって選ばれる「ホログゲノム選択」と呼ばれている。

リンテック(東京都文京区小石川の一の二)は、ラベルの高速印字・貼付が可能なラベリングマシンを

「L-VIS II(エルビス)」ブランドで展開していましたが、このたび電動モーター駆動の新機種を開発し、「L-VIS II EL」として九月十三日から受注を開始しました。

圧縮機が必要となり、設置場所の制約や電力消費量などの点で課題がありました。このたび同社が開発した「L-VIS II EL」は電動モーター駆動によるラベル貼付を行うため、コンプレッサの設置が困難な小規模スペースなどにおいてもラベルの自動貼付環境を構築することができ、トータルでの電力消費量の削減にも貢献するとしています。

「L-VIS II EL」は、圧縮エアを必要としない電動モーター駆動(空気)の各種包装機器と連携して使用することで、ラベルの発行や梱包・出荷業務の電動化に加え、コンプレッサの設置が不要となります。

従来の「L-VIS II」と同様、貼付方式として圧着プレッサ方式を標準ラインアップしているほか、商品などを搬送しながら貼付するのに適

したローラープレス方式もオプションで対応。縦長のラベルの貼付といったカスタマイズも可能です。世界各国で豊富な納入実績を誇る米国・ゼブラテクノロジーズ社製のバーコードプリンタを搭載しており、安定した印字品質を保つことはもちろん、高速印字も実現します。操作性やメンテナンス性の面でも従来機種ノウハウを継承しており、作業者に配慮した装置設計となっています。

この他にも作業効率に差をつける大巻のインクリボン装着可能で、交換頻度を減らして作業効率を向上させる大巻(600mm)のインクリボン装着可能。インクリボン送りをスムーズにする独自のテンション機構により、ロール外径差の影響を感じさせない安定した印字を実現します。

一般的にラベリングマシンは、圧縮したエア(空気)の各種包装機器と連携して使用することで、ラベルの発行や梱包・出荷業務の電動化に加え、コンプレッサの設置が不要となります。

従来の「L-VIS II」と同様、貼付方式として圧着プレッサ方式を標準ラインアップしているほか、商品などを搬送しながら貼付するのに適

したローラープレス方式もオプションで対応。縦長のラベルの貼付といったカスタマイズも可能です。世界各国で豊富な納入実績を誇る米国・ゼブラテクノロジーズ社製のバーコードプリンタを搭載しており、安定した印字品質を保つことはもちろん、高速印字も実現します。操作性やメンテナンス性の面でも従来機種ノウハウを継承しており、作業者に配慮した装置設計となっています。

同機は九月十三日から九月十六日まで東京ビッグサイトで開催された「国際物流総合展二〇二二」に出展し注目を集めました。

プリンタ搭載型ラベリングマシン
電動モーター駆動「L-VIS II EL」を
省スペース・省エネルギーに対応

従来の「L-VIS II」と同様、貼付方式として圧着プレッサ方式を標準ラインアップしているほか、商品などを搬送しながら貼付するのに適

